

## 香川県立ミュージアム運営協議会 令和3年度第1回会議の概要

日時 令和3年10月29日

場所 香川県立ミュージアム

議事要旨

- (1) 令和2年度事業実績について
- (2) 香川県立ミュージアム中期活動計画の取組状況について
- (3) 香川県立ミュージアム令和3年度上半期の事業概要について
- (4) 意見交換

委員から、次のような意見等が提起された

- コロナ禍でミュージアムの方は SNS 等を使って打開策を考えられていると感じた。手話動画は障害者のためにこれからも続けてほしい。
- 瀬戸芸に向けて SNS のハッシュタグを使ったキャンペーンをしてはどうか。フォロワー数の増加にも繋がる。ミュージアムのファンを増やしたい。
- 県外の需要が高まってきており、「せとうち」というブランド価値が上がってきている。先日、旅行会社に歴民をツアーに入れてもらえないかのご案内した。来年は瀬戸芸もあるので、旅行会社を通じて県外にもっとアピールしてもよいと思う。
- 他県から見た香川は、アート県かがわというイメージが定着している。県外の方に県立ミュージアムの良さをお届けできたらファンも増えると思う。
- 去年から今年全般にかけての企画は、どれも非常に内容が詳しく調べられていたが一般になかなか伝わっていない気がする。地味な活動であるが、続けていただきたい。
- 専門家の話も大事だが、一般の人と感覚が違う場合がある。一般の人を取り込む工夫が必要。
- コロナ禍に負けず、展覧会のクオリティを下げずに頑張ってもらいたい。
- 将来を担う子どもたちに向けて、メッセージ性の強い事業をしてほしい。
- 教育・学校との連携をさらに深めてほしい。
- 子どもたちに歴史の良さを教えていきたい。学芸員が（現地に）来て説明してくれるのは、ありがたかった。これからも続けてほしい。
- コロナ禍だが、美術館は比較的感染リスクが低い場所と思っているので、入場制限等をして、できるだけ開けられる方向に持ってほしい。
- コロナ禍で、直接体験は非常に意味があると再認識した。今後とも大人も子どもも体験できる場を設けていただきたい。
- 高齢者のために洋式トイレがもう少し多ければよい。
- 沙弥島で瀬戸芸に合わせたイベントをするので、PR できる場があればしていただきたい。